

# 竹原市シルバー人材センターだより4月号

## ★現在募集中の就業情報★

1. 剪定（初心者でやってみたいと思われる方でも大丈夫です）
2. 草刈り希望の方
3. 草とり希望の方
4. デイサービス送迎・・・朝・夕方

## 事務局からのお知らせ

◎今年度(令和6年度)の年会費（2,000円）の受付をしております。  
早目の納入をお願いいたします。

お近くにお寄りの際、事務所までぜひお願いいたします。

◎4月分の配分金の振込みは、5月16日（木）になります。

◎会員募集しています！周りの方へ声掛け・ご紹介をお願いします。

◎今年度の定時総会は、6月7日（金）13:00から、  
グリーンスカイホテル竹原で開催します。

議案書・委任状をお送りしますので、同封のハガキの出欠に○印をつけて、  
欠席される場合は、必ずハガキの「委任状」に署名・捺印の上、  
5月31日（金）までに返送してください。

★議案書にくじの番号を付けていますので、捨てないようにお願いします。  
当たらなくても残念賞があります。

※総会行事として『いきいき体操』を行いますので、  
みなさん一緒に体を動かしましょう。多数の参加お待ちしております。



4月より新しく就任しました  
塚原 一俊 業務課長です。  
よろしく申し上げます。

# 安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター専業協会

安全はすべてに優先

## 今月の事故



令和6年度はじまりました。  
剪定作業では必ず保護帽  
(ヘルメット)を着けてくださ  
いね。絶対だよ。ほんとうに

### 1. 事故の概要（就業中）（入院から重篤事故へ）

チェーンソーを使用した伐木作業にて、作業箇所高さ4.4m・足元高さ3m位(3.6mの三脚の天板から2段下と思われる)から墜落した。

墜落時の現認者は無し。他2名は近くにいたが、背を向けて別作業をしていた。  
ヘルメットは着用していたが、安全帯未装着。

### 2. 事故の原因

作業始業時には熱中症対策のみで当該作業のKYKはされていなかった。三脚の設置場所が不適当であり、三脚と木との結束も無し。高所(2m以上)で作業床無しの状況でチェーンソーを使用。道路にかかる場所であったが監視担当を置かず。

直径15cm程度・長さ2m以上の太い枝であったが吊るし切りをせずに作業したため、切った枝が三脚に接触した際にバランスを崩し墜落したものと思われる。

発注者から当日現場で追加注文をされた高所であった。(断るべき箇所であった)

### 3. 事故後のセンターの対応及び再発防止策

#### 【センター】

#### 【事故後の対応】

8/1 植木班臨時リーダー会議、8/2 植木班現場確認、8/2 市長・副市長・所管部長へ報告、  
8/4 植木班臨時リーダー会議、8/8 安全・適正就業委員会、8/22 理事会、  
8/31 臨時安全・適正就業委員会、9/1 植木班臨時リーダー会議、9/12・10/30・11/14・  
2/13・3/12 安全・適正就業委員会、12/20 三脚の使用実地研修、3/19 理事会、  
3/21 植木班四役会議、3/29 植木班全体会議

#### 【再発防止策】

- 高所作業基準の見直し  
14段・13段の特大三脚は使用禁止（廃棄処分済）  
作業高さ・足元高さの見直し  
三脚の使用段数について再検証  
使用最大は12段の三脚を適正に使用して届く高さまでとする（天板を含め4段目以下を使用上限）これ以上上ってはいけない視覚的目印として該当踏棧に赤色ノンスリップテープを貼り付け  
作業別安全就業基準の改正  
三脚の使用実地研修を実施
- チェーンソーは地上での作業のみとする
- 監視担当配置の基準  
作業別安全就業基準に記載は有ったが、徹底する様に周知、説明。
- 作業前の注意箇所の徹底

#### 5. リーダーの育成、適正な配置

当該リーダーはリーダー職から離れ、当該グループは他グループへ再編

#### 6. 作業別安全就業基準の見直し

作業高さの見直し、三脚の適正使用段数の見直し、チェンソーの作業は地上のみ、KYK（危険予知活動）の実施

#### 7. 高所作業の受注辞退

令和6年度の重点検討項目として、

- ・高所作業に該当する受注は控えること
- ・ロープワークはやらないこと等の作業内容の見直しを検討開始。

#### 【連合本部】

#### 【再発防止策及びセンターへの指導】

- ・事故発生状況を全センターへ周知し注意喚起を行う。

### 4. 全シ協から 令和6年度に向けて

今月の事故は、令和5年10月号に1か月以上6か月未満の事故で一度取り上げましたが、残念ながらお亡くなりになりました。

今一度、この事故を全国の会員さん、役職員さん一人一人が重く受け止め、また、令和6年度の始まりの安全就業ニュースということもあり、この事故を教訓に1件も事故を起こさないようにするため、基本を周知徹底いただきますようお願いいたします。

①保護帽（ヘルメット）あご紐はしっかりの装着、脚立・足場板を使用する場合は、安定した場所の確保、墜落制止用器具（安全帯）の装着は当たり前です。（装着しない場合は、就業させない対応を）

②会員さんの高齢化が進んでいる中、剪定作業は、リスクが大きい就業になってきています。センターが今まで以上に仕事を精査、吟味し（できる限り地上作業、アスファルトの道路、コンクリート、大きい石などがある環境がある場合の対策、断るなど）、会員さんに提供することをお願いいたします。

③シルバー人材センターは、危険又は有害な作業を内容とする仕事、例えばクレーン、フォークリフト、プレス機械等の重量機器の操作、高所作業、皮膚疾患等を伴う有害物質の取扱い作業など、高齢者にふさわしくないと判断される作業又は重大な災害に結びつくおそれのある作業は、高齢者の能力、体力に見合った仕事を提供するというシルバー事業の趣旨に反するものであるので、受注することのないように留意することとしています。

（平成3年11月1日付高雇発第40号通達）。【シルバー人材センター安全就業の手引（第六改訂）P104～106】

④伐木作業での、チェンソーの使用は、大きな事故につながるおそれがある就業です。

受注するのであれば以下の事項を遵守してください。

- ①現場を確認の上、樹高、樹太など周辺的环境等を確認して受注及び事務局による現場確認
- ②就業する会員全員が特別教育を受講
- ③契約書で作業内容を明確にし、契約以外の就業を禁止
- ④複数人での作業（事故の重大化を防ぐため）
- ⑤作業手順及び注意事項の作成
- ⑥保護帽・下肢の切創防止用保護衣、防振手袋の着用
- ⑦半径2m以内には、誰も入らない、また、何もないように整理・整頓
- ⑧脚立や足場板を使用しての樹上での作業禁止など

以上の安全が確保できない場合には、請け負うことはお控えください。

# 令和6年3月（令和5年度）事故速報

## (1) 重篤事故

3月は、6件の重篤事故の報告がありました。

3月までの累計で比較してみると、令和4年度の29件と比して令和5年度は36件と7件の増加となっています。

また、就業者・就業途上別にみると、就業者では令和4年度の19件と比較して6件の増加となっており、就業途上については、令和4年度の10件と比較して1件の増加となっています。

### 3月報告分までの累計

令和5年度累計	就業者・ 就業途上	件数	内 訳				令和4年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業者	25(5)	17(3)	8(2)	23(5)	1(0)	就業者	19	15	4	15	4	
就業途上	11(1)	6(0)	5(1)	6(1)	6(0)	就業途上	10	5	5	8	2	
計	36(6)	23(3)	13(3)	29(6)	7(0)	計	29	20	9	23	6	

( )は、当月分報告分

### 3月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
31	男 75歳	途上 (入院)	自転車で帰宅途中、後方から来たバイクに引っ掛けられ転倒。「当該会員がふらふらと道路の中央に寄ってきた。避けようと思ってハンドルを切ったが間に合わず転倒したとのこと。頭蓋骨骨折及び頭蓋内出血、又外傷性気胸（骨折した肋骨が肺に刺さる）となり入院、8か月半後死亡した。	—	—	自転車
32	男 68歳	就業者 (入院)	チェーンソーを使用した伐木作業にて、作業箇所高さ4.4m・足元高さ3m位(3.6mの三脚の天板から2段下と思われる)から墜落。大動脈破裂、肋骨鎖骨骨折など。	○	×	—
33	男 82歳	就業者 (死亡)	除草作業中に駐車場の車に水筒を取りに行ったときに何らかの理由で転倒し後頭部を打ち外傷性くも膜下出血、頭蓋骨骨折、174日入院後に死亡した。	—	—	—
34	男 78歳	就業者 (入院)	草刈り作業中、フェンスのない高所より転落、3mの高さから地面に落下し急性硬膜下血種、骨折した。	×	×	—

35	男 87 歳	就業中 (死亡)	階段3段の一番上から足を踏み外しあおむけに倒れ死亡した。	—	—	—
36	男 81 歳	就業中 (死亡)	民家の庭（川沿い）で植木の剪定作業をしていたところ、足を滑らせて4～5m程下の川底に転落。顔が水に浸っていたため一緒に作業していた会員が仰向けにさせ呼びかけるが応答なし。病院へ搬送したが脳挫傷、頸椎粉碎骨折により死亡した。	×	×	—

## 編集後記

今年は何年になく、桜の開花、満開が遅れ、久しぶりに入学式に桜を愛でることができました。今月は昨年度の事故状況を集計する月です。一昨年度の重篤事故の発生件数は29件と過去2番目に少ない件数まで減りましたが、昨年度は過去20年で4番目に少ないものの36件とまた増加に転じてしまいました。毎年なのですが、事故の多くは屋外作業で発生し、保護帽さえ被っていれば…というケースも散見されます。これも毎年申し上げていますが、シルバー事業において最も重要なことは、安全な就業環境の中で会員のみなさまが明るく楽しく、安心して働けることです。事故は一瞬の気の緩みから起こります。せつかくの楽しい就業の場を、最も大切な命を、事故により失うことがないように会員のみなさま一人ひとりが日々気をつけて、長く生きがいをもって働き続けることができますよう、このニュースが一助になれば幸いです。今年度こそ重篤事故件数が過去最低を下回る27件以下を目標にしたいと思いますので、自分だけは大丈夫と思わず安全就業に努めていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。(松山)

笑いのツボは人それぞれに異なると思います。私もたくさんの人から「笑い」を受け取っていますが、芸能人の中では高田純次さんがツボにはまる一人です。彼の独特なユーモアは、適当だけれど意外に常識的なところがあったりして人間としての深みを感じています。随分前になりますが、高田純次さんがテレビで発言されていた言葉の中に忘れられないものがあります。それは、歳をとってからやっではいけないことについてです。「説教」、「昔話」、「自慢話」の三つについて指摘されていて、私も中年となり、その傾向があるのではないかと心配になり思わず己を省みました。おそらく無意識に若い人達の前で「昔は～だった。」などと話している気がしました。自分自身が若い頃、昔話だったとしても参考となるような良い話であれば喜んで聞いていましたが、愚痴や武勇伝は勘弁です。そういう話に限ってなぜか何度も繰り返され、「わっ、まただ。それはもう5回聞いたよ。」と心の中で思ったりしたものです。皆さんも周りに嫌われないように気を付けましょう。一方、若い人たちに対しての高田純次さんの考えは、「声を出して褒める」、「将来の目標や希望を聞く」、「謙虚な気持ちで相手(若者)から学ぶ」とのこと。若者から学ぶ気持ちはとても大切に思います。私もそのような柔軟さを理想としています。説教や昔話、自慢話には参考になることもあるかもしれません。それを聞いて自分の中に取りこんで考えてみることも時には楽しい作業ですよ。たまには世代差のある方とも話す機会を作って聞いてみてください。「たまに」でいいので、よろしくお願い致します。(高木)



令和6年度は、草刈り作業での  
飛び石事故ゼロ！を目指そう。  
会員の皆さん 信じているよ。